

D I ニ ュ ー ス

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	オキサロールローション 25 μ g/g	劇
(英名)	Oxarol Lotion	
(規格・含有量)	10g/1本 1g 中有効成分マキサカルシトール 25 μ gを含有	
(一般名)	マキサカルシトール製剤	
(メーカー名)	マルホ	
【薬価収載日】	2007年6月	
【薬価】	138.00円/1g	
【薬効コード】	872691	
【薬効分類名】	尋常性乾癬等 角化症治療剤	
効能・効果	尋常性乾癬、魚鱗癬群、掌蹠角化症、掌蹠膿疱症	
用法・用量	通常1日2回適量を患部に塗擦する。なお、症状により適宜回数を減じる。	
禁忌	本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	本剤他剤副作用増強 ①ビタミンD及びその誘導体(アルファカルシドール、カルシトリオール、カルシポトリオール等)、②PTH製剤(テリパラチド) 他剤副作用増強 カルシウム製剤(乳酸カルシウム水和物、炭酸カルシウム等)	
副作用	重大な副作用 高カルシウム血症 急性腎不全 その他 そう痒、皮膚刺激、紅斑など	

(薬品名)	ボンアルファハイ軟膏 20 μ g/g	劇
(英名)	Bonalfa High Ointment 20 μ g/g	
(規格・含有量)	10g/1本 1g 中有効成分 20.87 μ g (タカルシトールとして 20 μ g: 0.002%)を含有	
(一般名)	タカルシトール水和物	
(メーカー名)	帝人ファーマ	
【薬価収載日】	2002年8月	
【薬価】	272.70円/1g	
【薬効コード】	872691	
【薬効分類名】	活性型VD ₃ 尋常性乾癬治療剤	
効能・効果	尋常性乾癬	
用法・用量	通常1日1回適量を患部に塗布する。	
禁忌	本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	本剤副作用増強 ①サイアザイド系利尿剤 ②シクロスポリン 他剤副作用増強 カルシウム含有製剤(乳酸カルシウム水和物、沈降炭酸カルシウム等) 本剤他剤副作用増強 ビタミンD及びその誘導体(アルファカルシドール、カルシトリオール、カルシポトリオールマキサカルシトール等)	
副作用	重大な副作用 高カルシウム血症 その他 刺激感、そう痒、ヒリヒリ感、発赤、尿中カルシウム上昇、intactPTH低下など	

(薬品名)	ノルspanテープ 5mg・10mg	劇	市販直後調査 平成23年8月～平成24年2月
(英名)	NORSPAN TAPE		
(規格・含有量)	5mg/1枚 1枚中、有効成分ブプレノルフィン 5mg を含有 10mg/1枚 1枚中、有効成分ブプレノルフィン 10mg を含有		
(一般名)	ブプレノルフィン経皮吸収型製剤		
(メーカー名)	久光製薬		
【薬価収載日】	2011年7月		
【薬価】	(5mg/1枚:1529.10円) (10mg/1枚:2356.40円)		
【薬効コード】	871149		
【薬効分類名】	経皮吸収型 持続性疼痛治療剤		
効能・効果	非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患に伴う慢性疼痛における鎮痛 変形性関節症、腰痛症		
用法・用量	通常、成人に対し、前胸部、上背部、上腕外部又は側胸部に貼付し、7日毎に貼り替えて使用する。 初回貼付用量はブプレノルフィンとして5mgとし、その後の貼付用量は患者の症状に応じて適宜増減するが、20mgを超えないこと。		
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②重篤な呼吸抑制状態及び呼吸機能障害のある患者		
相互作用	本剤他剤副作用増強 ①中枢神経抑制剤(フェノチアジン系薬剤、ベンゾジアゼピン系薬剤、バルビツール酸系薬剤等) ②全身麻酔剤 ③モノアミン酸化酵素阻害剤 ④オピオイド鎮痛剤 ⑤骨格筋弛緩剤 ⑥アルコール 本剤作用減弱 CYP3A4誘導作用を有する薬剤(フェノバルビタール、カルバマゼピン、フェニトイン、リファンピシン等)		
副作用	重大な副作用 呼吸抑制、呼吸困難 ショック、アナフィラキシー様症状 依存性 その他 浮動性めまい、頭痛、傾眠、便秘、悪心、嘔吐、適用部位紅斑、適用部位そう痒感、食欲減退など		
備考	向精神薬第2種 登録医限定薬		

(薬品名)	イクセロンパッチ 4.5mg・9mg・13.5mg・18mg	劇	市販直後調査 平成23年7月～平成24年1月
(英名)	EXELON PATCH		
(規格・含有量)	4.5mg/1枚 1枚中に有効成分リバスチグミン 4.5mg を含有 9mg/1枚 1枚中に有効成分リバスチグミン 9mg を含有 13.5mg/1枚 1枚中に有効成分リバスチグミン 13.5mg を含有 18mg/1枚 1枚中に有効成分リバスチグミン 18mg を含有		
(一般名)	リバスチグミン経皮吸収型製剤		
(メーカー名)	2011年7月		
【薬価収載日】	ノバルティス ファーマ		
【薬価】	(4.5mg/1枚:337.20円) (9mg/1枚:379.70円) (13.5mg/1枚:407.00円) (18mg/1枚:427.50円)		
【薬効コード】	87119		
【薬効分類名】	アルツハイマー型認知症治療剤		
効能・効果	軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制		
用法・用量	通常、成人にはリバスチグミンとして1日1回 4.5mg から開始し、原則として4週毎に 4.5mg ずつ増量し、維持量として1日1回 18mg を貼付する。 本剤は背部、上腕部、胸部のいずれかの正常で健康な皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。		
禁忌	本剤の成分又はカルバメート系誘導体に対し過敏症の既往歴のある患者		
相互作用	本剤他剤副作用増強 ①コリン作動薬(アセチルコリン、カルプロニウム、ベタネコール、アクラトニウム) ②コリンエステラーゼ阻害剤(アンベニウム、ジスチグミン、ピリドスチグミン、ネオスチグミン等) 本剤他剤作用減弱 ①抗コリン作用を有する薬剤(トリヘキシフェニジル、ピロヘプチン、マザチコール、メチキセン、ピペリデン等) ②アトロピン系抗コリン剤(ブチルスコポラミン、アトロピン等) 他剤作用増強 サクシニルコリン系筋弛緩剤(スキサメニウム等)		
副作用	重大な副作用 狭心症、心筋梗塞、徐脈、心ブロック、洞不全症候群、脳血管発作、痙攣発作、食道破裂を伴う 重度の嘔吐、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃腸出血、肝炎、失神、幻覚、激越、せん妄、錯乱 脱水 その他 食欲不振、嘔吐・悪心、接触性皮膚炎、適用部位紅斑、適用部位そう痒感、適用部位浮腫、適用部位皮膚剥脱など		

削除医薬品通知

●10月3日より

ボンアルファローション 10g	削除
ボンアルファ軟膏 10g	削除
ジヒデルゴット錠 1mg	削除

適応追加通知

グラクティブ錠 25mg ジャヌビア錠 50mg セルセプト Cap 250	2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る 食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用 腎移植の場合 小児：通常、ミコフェノール酸 モフェチルとして1回 300～600mg/m ² を1日2回 12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日 2,000mgを上限とする。
献血ヴェノグロブリン IH5%静注	全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る) 通常、成人には1日に人免疫グロブリン Gとして 400mg(8mL)/kg 体重を5日間点滴静注する。
イトリゾール内服液 1%	真菌感染症 [適応菌種] アスペルギルス属、クリプトコックス属、プラストミセス属、ヒストプラズマ属 [適応症] 真菌血症、呼吸器真菌症、消化器真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎、プラストミセス症、ヒストプラズマ症 通常、成人には 20mL(イトラコナゾールとして 200mg)を1日1回空腹時に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1回量の最大は 20mL、1日量の最大は 40mLとする。 真菌感染が疑われる発熱性好中球減少症 通常、成人には、イトラコナゾール注射剤からの切り替え投与として、20mL(イトラコナゾールとして 200mg)を1日1回空腹時に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1回量の最大は 20mL、1日量の最大は 40mLとする。 好中球減少が予測される血液悪性腫瘍又は造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防 通常、成人には 20mL(イトラコナゾールとして 200mg)を1日1回空腹時に経口投与する。なお、患者の状態などにより適宜増減する。ただし、1回量の最大は 20mL、1日量の最大は 40mLとする。
エンドキサン錠 50mg	ネフローゼ症候群(副腎皮質ホルモン剤による適切な治療を行っても十分な効果がみられない場合に限る。) 通常、成人にはシクロホスファミド(無水物換算)として1日 50～100mg を 8～12週間経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 通常、小児にはシクロホスファミド(無水物換算)として1日 2～3mg/kg を 8～12週間経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、通常1日 100mg までとする。 原則として、総投与量は 300mg/kg までとする。
プレドニン錠 5mg	多発性骨髄腫